平成26年度 サマーランド派遣交流事業報告

8月4日～12日、豊頃中学校の2年生3名、3年生2名の計5名が、本町の姉妹都市であるカナダ国サマーランドを訪ねました。

中学生交流事業に同行して

【引率者】豊頃町教育委員会　門　栄

中学生交流派遣事業として、豊頃中学校の生徒5名と8月4日から12日までの9日間の旅程で、姉妹都市のカナダ・サマーランド市を訪問しました。

父母らに見送られてえる夢館を出発した一行は、帯広空港から羽田、成田を経由しバンクーバー、そしてケローナ空港へ。12時間を超える移動、そして16時間もの時差でしたが皆元気、空港ではダーリーン姉妹都市交流会長をはじめ3人の方々から笑顔の出迎えを受け、車で移動し1時間程でサマーランド市役所へ到着。その後市役所で歓迎式が行われ、子どもたちそれぞれが英語で自己紹介し、ペリーノ市長からお褒めの言葉をいただきました。終了後は子どもたち全員元気な笑顔でそれぞれのホストファミリー宅へ。カナダ・バンクーバー国際空港からは全て英語。入国審査時の緊張感と不安や疲れが一気に押し寄せたことでしょう。訪問した時の天候は最高気温が30度を超えていましたが湿度が50％～60％程度。雨もなくとても過ごしやすい気候に恵まれていました。また、果樹園が非常に多く、私たちが訪問した時はちょうど桃の収穫が最盛期で隣町のペンティクトンでは、桃の収穫に感謝するイベント『ピーチフェスティバル』が開催されていました。

5日目の夕方にオカナガン湖畔でさよならパーティーを開いていただきました。生徒達は、お世話になった感謝の気持ちを込め、日頃授業で行っている書道でそれぞれの思いを色紙に書き披露したところ、とても喜んでいただきました。皆サマーランド到着当初の緊張感も解け、元気にホームステイの話題で盛り上がっていました。

最終日はホームステイを名残惜しむ受入れ先の家族や生徒も見られ、5日間のホームステイを終えました。

ホストファミリーと過ごした子どもたちは、ビーチバレーやボートで賑わうオカナガン湖畔や大きくそびえるジャイアントヘッドマウンテン、果樹園の横を勇壮に走るケトルバリー蒸気鉄道の蒸気機関車など、異なる生活習慣や食事、そして歴史、文化に触れ、サマーランドの大自然を満喫しながら、多くのことを学ぶことができました。

サマーランドを後にし、私たちは、2010年冬季オリンピックが開催されたバンクーバーで1泊しました。

年間800万人を超える観光客が訪れるスタンレーパークを見学したり、オリンピックの開・閉会式会場だったスタジアムなどを車窓から眺める事ができました。カナダから出国する時は、思う存分日本語がとびかい、疲れを見せない生徒達の笑顔に驚かされました。

東京で1泊し8月12日、たくさんのカナダの思い出とともに家族の待つ豊頃に無事帰ってきました。

この訪問を通して、生徒一人ひとりが貴重な時間を体験でき、一回り成長したと思います。彼らには今回の経験をもとに様々なことにチャレンジし、将来にプラスになることを期待しています。

豊頃中学校の加藤麻那さんを団長に川村鈴治君、石田幸成君、渡邉彩映さん、田頭胡桃さん、工藤由佳教諭とともに姉妹都市サマーランドを訪問しました。

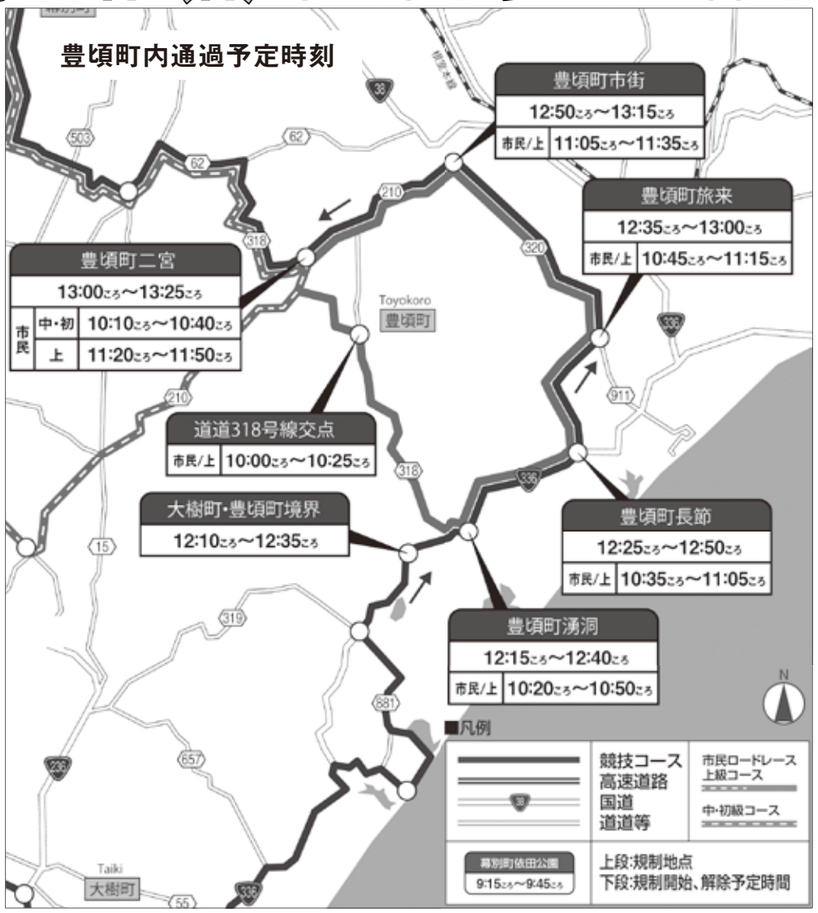
交通規制のお知らせ

ツール・ド・北海道２０１４

ツール・ド・北海道2014が9月13日から15日の日程で行われます。14日（日）には本町の道道等を通行します。収穫時期でお忙しい中ではありますが、交通規制に従い通行くださるようお願いします。また、通りかかった際には応援もお願いします。

スタート・ゴール：幕別町（依田公園）

９月14日（日）８：15ころ～14：30ころ



①競技コース周辺道路は、混雑が予想されますので車両で通行する際は十分注意してください。

②競技車列に順行する車両は、後方を追従して走行できますが、車列の追い越しや割り込みはできませんので注意してください。

③競技車列に対向車両は、支障がない限り通行できますが、競技自転車が接近しているときは、減速するなど競技の安全にご協力ください。その際、右折、横断、転回はできませんので注意してください。

④競技自転車がトンネルや急カーブ等の道路を走行する場合は、危険防止のため、その手前で対向車両に一時的に停止（停止時間は、最小10分間、最大40分間程度）をお願いすることがあります。

⑤規制時間は、競技状況等によって変更になる場合がありますのでご了承願います。

主　催

（公財）ツール・ド・北海道協会（011）222 - 5922

（公財）日本自転車競技連盟（03）6277 - 2690